



## 災害時“死者ゼロ”を目指す！ マンション管理組合と自治会の取組



東京都昭島市 つつじが丘北防災協議会 宮田 次朗

東京都昭島市は、新宿から電車で36分、水道水が100%の地下水で緑あふれる地域です。つつじが丘北ハイツは、入居後35年経過し11階建て14棟、1,397世帯のマンション群で、少子高齢化が急速に進んでいます。



つつじが丘北ハイツ

22年前の阪神・淡路大震災を契機に「つつじが丘北自治会」を立ち上げ、「昭島つつじが丘北住宅団地管理組合」と地域の安全安心の為のコミュニティ活動に取り組んできました。

防災訓練は管理組合が主催、自治会が協力して毎年実施してきましたが、近隣小学校への避難が中心の旧来型訓練を脱却し、地域防災を常時話し合う場として、平成24年12月から管理組合と自治会で『つつじが丘北防災協議会』を編成し、5年間で56回開催、ハード&ソフト面から災害時“死者ゼロ”を目指しての協議を続けています。

また、マグネット製の安否確認ステッカーを6年前に全戸に配布しました。



ネームプレート

さらに、安否確認をスムーズにする為、各棟の縦階段を1グループとする

とともに、グループ単位に首ひもの色をかえたネームプレートを居住者全員に配布し、防災訓練や地域活動の際に身につけ、名前呼び合える仲間づくりをしています。

36年間、夏まつりを共同開催する周辺組織と、東日本大震災の半年前に防災を中心に活動する地域コミュニティ組織“まちづくり昭島北”としての活動をスタートさせ、同じ開催日時で地域別に6回の合同防災訓練を実施しています。

その取組を近隣の中学校まで拡大し、5年連続で中学生全員との防災訓練を実施することが出来ました。これは長年にわたる周辺地域や小中学校との話し合いを継続している結果、強い信頼関係が構築されたことの証と思います。

中学生時代3年間に地域の一人として防災訓練を共に経験することで、高齢化が進む私たち地域の“防災の担い手”となり、将来の地域リーダーとして成長していただけることを期待しています。

本年も9月23日(祝)中学生と共に防災訓練を実施し856名が参加。87%のお宅が玄関ドアに安否確認ステッカーを貼っていただきました。訓練はまず各家庭で初動時の安全対応訓練／一時避難所への避難訓練／全戸の安否確認訓練／三角巾を使っでの応急手当訓練までを棟別に行い、その後6年ぶりに近隣の小学校への避難誘導訓練を実施。体育館に集合後、実際の避難時受付体制の説明や、災害時の学校の施設計画の



避難誘導訓練後の全体集合

紹介をしました。

この地域は地盤が比較的強いとされていますが、揺れ対策が一番重要で、各家庭の家具転倒防止を実施していただくため、工具セットを用意し無償貸出しも実施しています。



工具セット

また、各棟の1階に防災倉庫を設置し、安否確認や救助のためのグッズを常時設置しました（下図）。災害時は、在宅の住民が中心となり倉庫から取り出し、まずは安否確認を実施することを毎回の



棟別の防災倉庫

訓練の際、住民全員で行っています。なお倉庫のカギは、常時倉庫横のキーボックス（写真赤の矢印）にあり、住民がだれでもいつでも開けられる仕組みとしました。



棟別の防災倉庫内の防災グッズの配置

このような流れの中で生まれたのが号棟別の防災隣組（東京都推奨）の組織化で、防災・危機管理アドバイザーの山村武彦氏が提唱する近助の精神での“防災隣組”と、互

いに近くで助け合う“互近助”（ごきんじょ）のネットワーク活動が広がっております。

また、この地を災害から強いまちにするため、防災関連の研修会等にも積極的に参加し、本年1月に神戸方面、11月に宮城、岩手を訪問し被災当時のことを直接お聞きし、多くのアドバイスをいただきました。

平時の活動を通じて、高齢化の進む我が地域の防災の備えを進め、安全・安心なまちづくりに活かしていきたいと思ひます。

## ～我が地域防災の備えの取組～

- ① “自助を啓発”する活動を続ける！
  - ・家具転倒防止対策と安全ゾーンの確保
  - ・飲料水、食料の3日分以上の備蓄の徹底
  - ・原則、まずは自宅避難！その為の準備
  - ・防災訓練の前後に広報を5～6回発行
  - ・協議会活動を地域住民に伝える広報活動
- ② 平時に大いに楽しく“互近助”の仲間づくり！
  - ・棟別“防災隣組”組織の充実で仲間づくり
  - ・防災芋煮会・花見等の棟別集いの開催
  - ・日頃のあいさつ運動
  - ・ネームプレートを付けた地域活動への参加
  - ・毎月の資源回収活動のさらなる活用
- ③ 発災後、15分以内の全戸安否確認体制
  - ・つつじが丘北防災協議会で継続協議する
- ④ 災害時“死者ゼロ”を目指すための備え
  - ・棟別の防災隣組組織のさらなる活性化
  - ・住民に地域防災の取組みを徹底する為に『つつじが丘北・防災マニュアル』作成（改訂版を平成30年3月発行予定）
  - ・昭島市並びに周辺地域との連携の推進

今後とも、防災隣組の活動を支援し、管理組合と自治会がさらに連携し、ハード面の備えの準備と、ソフト面の情報共有に心がけ、“みんなが楽しく参加でき、いのちを守る”防災の仕組みを住民と共に構築し、互いに近くで助け合う“互近助”の力を強化し、住み続けたいまちにしていきたいと思ひます。